

平昌冬季五輪の詳細はあすの日刊スポーツで大展開



団体SP

103.25点

自己ベスト迫る

金
発
進

宇
野

◆団体男子SP成績◆

- ① 宇野 昌磨(日本) 103.65
- ② ビチェンコ(ロシア) 88.49
- ③ チェン(カナダ) 81.66
- ④ チェン(米国) 80.61
- ⑤ リッツォ(イタリア) 77.77

平昌冬季五輪
フィギュア団体

男子ショートプログラム(S
P)で日本の宇野昌磨(2011ト
ヨタ自動車)が103・25点を
たたき出した。
冒頭の4回転フリップで手
つくミスがあったが、4回転
3回転の連続トーループ、トリ
プルアクセル(3回転半)を成
功させて、自己ベストに迫る高
得点を記録。米国のチェン、ロ
シアからの五輪選手(OAR)
のコリヤダらが相次いでミスを
し「ネーサン(チェン)選手
や、コリヤダ選手がいつもあ
なに失敗することは無くて初め
てなので『特別緊張するのかな
?』『朝が早いかな?』と考え
て、自分も失敗するのかなと思
っていた」。それでも4回転フ
リップを何とか転倒せずにこら
えたことを自信に変え、中盤か
らの修正で高得点を導いた。



演技を終えた宇野(手前左)は樋口コーチ(同右)と笑顔を見せる。後方左から村元、宮原(左)男子SPで演技を終えた宇野は笑みを浮かべる(撮影はともに山崎安昭)